様式３（2020.08改）

作成日　令和3年10月29日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397600012
事業所名	グループホーム第二あま恵寿荘

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	地域交流は自粛中であるが、隣接する保育園の運動会には居室から中庭に出て、柵越しに声援を送った。 運営推進会議の書面開催の意見アンケートでは、地域からの意見があり、ホームの取組みに活かしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議を書面開催とし、年6回継続している。 その際の意見アンケートでは、行政・地域包括支援センター・地域代表・家族から多くの意見や要望、提案があり、ホーム運営に反映させてサービス向上に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	運営推進会議には行政、地域包括支援センター職員の意見・提案がある。 管理者は市に相談・指導を仰いでおり、連携を図っている。 地域包括支援センター職員とは、ふれあいカフェを通して連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ホームが1階にあり、窓越し面会やリモート面会、ホーム相談室の面会がある。 運営推進会議の意見アンケートには、多くの意見があった。 利用者と疎遠だった家族からも意見・要望があり、職員と共有して運営に活かしている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

書面開催を継続し年6回開催している。
意見アンケートでは行政・地域包括支援センター・地域代表・家族から多くの意見、要望、提案があり、ホーム運営に反映させてサービス向上に活かしている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	－	○	×	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									